

「はつかいち」で借りる お勧めの本

はつかいち市民図書館の司書がお勧めする、
廿日市市内の図書館で借りることができる本を紹介します。

は
はらぺこ
あおむし

エリック・カール / さく
もりひさし / やく
借成社
E / カ
幼児から



浦部聡子 (うらべ・さとこ) さん

つ
月へ
アポロ11号の
はるかなる旅

ブライアン・フロッカ / 作絵
日暮雅通 / 訳
借成社
E / フ
小学校・中学年から



郷範子 (ごう・のりこ) さん

か
がんばれ
ヘンリー
くん

ベバリー・クリアリー / 作
松岡享子 / 訳
ルイス・タリ / リング / 絵
学研教育出版 / 933 / ク
小学校・中学年から



安達紀子 (あだち・のりこ) さん

い
一瞬の風
になれ
第一部
イチニツイデー

佐藤多佳子 / 著
講談社
F / サ
中学生から



木村路絵 (きむら・ふさえ) さん

ち
父と
暮せば

井上ひさし / 著
新潮社
912 / 6 / イ
大人向け



宗岡亜弥 (むねおか・あや) さん

日曜日の朝、ぽん！と
たまごから、ちっぽけな
あおむしが生まれました。
おなかを空かせたあお
むしは食べ物を探しに出
掛けます。
月曜日はりんごを1つ。
火曜日には梨を2つ。毎
日食べる量が増えて、ど
んどん大きくなっていき
ます。そして…
鮮やかな色彩の絵や、
穴が開いている仕掛けな
ど、何歳からでも楽しめ
る絵本です。

昔から人は月を見て日
を数え、月の明かりに感
謝し、月の世界に夢や憧
れを持っていました。1
969年、世界で初めて
アメリカの宇宙飛行士が
月に降り立ちました。ア
ポロ11号の発射から帰還
までを描いたこの本から
は、人々の興奮や月の静
寂さも伝わってきます。
また、一日ごとの月の
満ちかけや名前が分かる
『月の満ちかけ絵本』も
お勧めです。

ヘンリーは小学3年生。
痩せこけた犬を拾ってバ
スで連れて帰ろうとした
り、飼い始めたグッピー
がどんどん増えて困った
り…。
この本は、ヘンリーの
周りで次々と起こるドタ
バタ話を6つ収録した
『ゆかいなヘンリーくん』
シリーズ第1作。原作は、
半世紀以上も前の本です
が、今紹介しても、多く
の子どもたちが興味を持
つ本の1つです。

幼い頃から兄と共に
サッカー漬けの生活をし
てきた新二。兄の優れた
才能に比べ、上達しない
新二は、いつのころから
かサッカーが楽しめなく
なっていました。サッ
カーを諦めて進学した春
野台高校。授業の50mタ
イム走で、天才的なスプ
リッターで幼なじみの連
と勝負し、これをきつか
けに、新二は陸上部への
入部を決めます。爽快な
青春小説を読みたい人に。

昭和23年(1948)
年、広島市。原爆によつ
て大切な人たちを失った
美津江は、自分だけが幸
せになつては申し訳ない
と心を閉ざしています。
死んでしまった後も娘の
幸せを願う父・竹造は恋
の応援団長として現れ、
娘を励まします。原爆に
対する2人の悲しみや怒
り、悲惨な体験を父の励
ましで乗り越えて生きて
いこうとする娘の姿が描
かれています。



人は一人では生きていけません。
泣いたり、笑ったり、
共感し、相手の立場で考える。
想像力豊かに、
人の気持ちに敏感に—。
読書には豊かに生きるために
大切な要素が詰まっています。

家族の触れ合いを支える

図書館では、子どもた
ちが本を読むきっかけに
なればと、絵本の読み聞
かせなどを行っています。
参加した子どもたちに
絵本を読んでもらうこと
の楽しさを感じてもらい、
その様子を保護者の皆さ
んに見てもらうことで、
家庭でも読み聞かせをし
てほしいと願っています。
家庭での読み聞かせに
は、図書館でできないこ
とがあります。
それは、本を通して家
族が触れ合う時間を持つ
ということです。家族が
同じ時間を共有すること
で、子どもは家族の愛情
を感じ、本の楽しさを知
ります。そこから、子ど
もが本を身近な存在とし
て捉え、自ら読書し、想
像力を育んでいきます。
想像力が豊かであればあ
るほど、相手の気持ちに
共感し、相手の立場で考
える力が高まります。そ

人と本を結ぶ懸け橋—

れは、社会を生き抜く大
切な力となるのです。

市民の生涯学習を支える

一昔前は、学校などで
得た知識を使って生きて
いくのが常でした。
生涯学習時代と言われ、
まさに社会や経済が目ま
ぐるしく変化する現代で
は、より良く生きるため
に私たちは絶えず新しい
知識や技術を習得する必
要があります。市民の皆
さんが学びたい、知りた
いと思つたとき、いつで
も資料や情報を提供でき
るように準備をしておく

ことが、図書館の役割で
あり、使命です。
さらに、まちづくりの
ための地域の課題解決の
場としての役割も期待さ
れています。蔵書をそろ
え、相談を受ける職員
のスキルアップも求めら
れています。

図書館は、地域の文化
のバロメーターです。1
人でも多くの人に利用し
てもらい、共に図書館を
育ててほしい。人と
本を結ぶ懸け橋として、
これからも市民の皆さん
の生涯学習を支える図書
館にしていきたいです。



はつかいち市民図書館
三好 哲幸 館長

—特集 ライブラリへ来ぶらり。終わりに—